



倉敷市立玉島西中学校

校長室だより

校訓：誠実に たくましく

第12号

令和4年8月23日（火）

1学期の振り返りを2学期に活かしましょう

7月19日に1学期終業式をMeet配信で行いました。玉島西中を『笑顔で夢を語るができる学校』にするために、皆さんに大切にしてほしい3つのこと（仲間・挑戦する気持ち・授業）の振り返りをしました。中学校時代は心身ともに大きく成長する時期。1年に3回ある振り返りの機会に、自分ができたことやできなかったことをきちんと見つめ直して、新たな学期がより有意義な時間となるよう心がけてほしいと思います。各学年の代表の生徒からは、次のような反省がありました。



入学して三か月、いろいろなことがありました。延期になった自然教室、小学校とは違う体育会。たくさん楽しいことがありましたが、課題も見つかりました。初めての研修でみんな気持ちが浮ついていたのか（中略）自然教室のルール・マナーに合った10分前行動5分前集合ができませんでした。2学期は時間を意識して行動しましょう。日常生活では授業中と休み時間のメリハリをきちんとつけられるようにしましょう。夏休みは玉島西中学校の生徒としての自覚をもって過ごしましょう。 1年代表生徒

2年生になって改善できたこと、良かったことが三つあります。一つ目は、1年生の時より授業態度が良くなったこと。二つ目は体育会で会場の準備・運営・片付けに携わることができたこと。自分たちの手で行事を行う経験ができてよかったです。三つ目は、総合の学習を通して玉島についてより深く知ることができたことでした。これからの課題は、遅刻をする人が多くなったことや心無い言葉を耳にすることがあることです。（中略）部活動ではほとんどの部が2年生中心となって活動するようになります。1年生を引っ張れるようにがんばりましょう。 2年代表生徒

3年生の1学期は、中学校生活最後の体育会を成功させるため、学年全体が一つになって臨むことができました。自分たちが出場するする種目をがんばるのはもちろんのこと、応援や部活動対抗リレーのパフォーマンスも全力で楽しむことができました。あの雰囲気自分たちで作ることができるのがこの3年生の強みだと思っています。この強みを普段の学校生活でも生かしていきたいです。6月には初めての習熟度テストがありました。定期考査とは違い、中学校で習ったすべての内容を含み、難しい問題も多く、いつものように点数が取れなかった人が多かったです。次の習熟度テストは夏休み明け。夏休み中に「わからない」を「わかる」「できる」にして臨みましょう。部活動を引退した人も多く、受験に向けて本格的に復習をしなければならない大事な期間です。夏休みには念願の修学旅行もあります。学ぶところと遊ぶところのメリハリをきちんとつけて、思い出に残る二日間にしましょう。 3年代表生徒

いずれも、1学期の反省とともに2学期への意気込みが感じられる発表でした。

夏休み中の活躍について

夏休み中には運動部の県大会が実施され、出場した選手の皆さんは全カプレーで活躍しました。倉敷市体育協会主催の大会もあり、これを3年生最後の試合と位置付けていた部もありました。3年生は悔いの残らない活動ができたでしょうか？ また、2つの弁論大会に3年生2名が学校代表として参加しました。7/27の「夢語りスピーチコンテスト」では3年生川上佳世さんが金賞を、8/2の「倉敷市中学生弁論大会」では3年生高久輝也さんが金賞を受賞しました。（高久さんは倉敷市代表として県大会に出場します。）二人とも練習の成果を発揮して、堂々とした態度で臨んでいました。その他にも岡山県児童生徒書道展で多くの生徒が特選を獲得しています。皆さんの日頃の努力の成果に心からの拍手をおくります。